

令和6年度 部局経営目標

年度	令和6年度	作成日	令和6年4月1日
部局名	建設部	部局長名	美甘 則之
(1) 部局の役割・使命 (ミッション)			
1.快適で持続可能な都市形成【No.11：住み続けられるまちづくりを】 豊かな自然と共生し、美しい田園環境に包まれた安らぎのある「まち」をつくる。 中心市街地の都市基盤・都市機能と地域生活拠点の生活利便性を高め、持続可能な「まち」をつくる。 多様な産業機能を活かした「まち」をつくる。 建築物の木質化やユニバーサルデザインなどを取り入れたまちづくりの推進を行う。 2.国土調査事業の実施【No.11：住み続けられるまちづくりを】 社会資本整備の基盤である国土調査の真庭市全域の早期完了を目指す。 3.安全・安心なインフラ整備と維持管理【No.11：住み続けられるまちづくりを】 良好な道路環境の整備を進める。 強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築により、安全・安心なまちづくりと地域経済活性化を目指す。 橋梁・トンネル等道路重要構造物の長寿命化を図り、持続可能なまちづくりを進める。 建築物の利便性の向上などを図った設計・営繕業務の推進を行う。 4.安全・安心で持続可能な上下水道事業の運営【No.6：安全な水とトイレを世界中に】【No.14：海の豊かさを守ろう】 上下水道事業の持続可能な経営の確保に向けて、公営企業としての経営体制の強化を進める。 中長期的な視点に立った施設の改築・更新、老朽化した施設の更新統合等、ストックマネジメントによる維持管理費用の削減を強力に進め、効率的な運営管理を目指す。 5.資源循環型社会の実現とエネルギーエコタウン真庭の推進【No.7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 建築物への省エネ機器等の導入を検討し、省エネルギー化及び温室効果ガス排出量の削減を推進する。 6.農林業施設の適正な維持管理【No.15：陸の豊かさを守ろう】 市内ため池の計画的な改修工事と、利用されていないため池の廃止を実施し、将来にわたって安心して住み続けることのできる地域づくりに取り組む。 林道の通行の安全を確保するための修繕工事を実施し、原木取扱量の増量を図ることで林業振興に取り組む。			

(2) 部局の重点施策	
① 地域みんなで子育てを応援する「こどもはぐみ応援プロジェクト」 ③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) 誰もが安心して子どもを生み育てることができる環境（公民協働ポケットパーク整備事業）への支援
② 自分らしく暮らせる「共生の地域社会まにわ」の実現	(1) 協働による道路環境整備の推進
③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) 市営住宅のストックを活用した子育て世帯、若者への住宅支援 (2) 地域の特性に応じた住生活をめぐる課題を浮き彫りにし、住宅施策の方向性を示した計画の策定 (3) 里山真庭にふさわしい統一感と地域ごとに個性のある景観施策を検討 (4) 早期に土地利用の円滑化を図るため、地籍調査業務の効率を検討 (5) 建築物の木質化やユニバーサルデザインなどを取り入れたまちづくりの推進 (6) 道路施設の法定点検及び計画的修繕の実施 (7) 自転車活用推進計画の策定に向けた準備計画 (8) 世界でも厳しい水質基準を満たす安心安全な水道水の供給を断水をできるだけ少なく供給 (9) 令和10年度概成に向けた下水道整備事業の展開 (10) 適正な水道料金及び下水道使用料の請求
④ 未来に向けた「回る経済」の推進と脱炭素への挑戦	(1) 農林業施設の計画的改修の実施

(3) 事業成果目標	指標名及び目標値
●人口減少抑制対策 空き家対策 ・空き家を有効なストックとして活用するため、空き家活用促進補助金により、空き家の活用と、市内定住の促進を図る。	指標：空き家活用補助金
	目標値：40件
	(令和5年度実績値：35件)
1-①公園整備 ・こどもからお年寄りまでの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動、地域間の交流・連携など多様な活動の拠点である緑とオープンスペースの憩いの場を整備していきます。	指標：整備箇所数
	目標値：市内2箇所
	(令和5年度実績値：勝山地内ポケットパーク1件)
1-②総合的な空家等対策の実施 ・令和2年度に策定した「真庭市空家等対策計画」に則り、また、空家等を把握・対応を検討する部局横断的な会議を適宜開催し、空家等の利活用の促進によるUIターン者等の獲得や、老朽危険空家等への対策による地域住民の安全で安心な生活環境の確保等、他部署と連携した総合的な空家等対策を実施します。 ①老朽化した危険な空家を除却する際の補助金の交付や、所有者の意識の醸成、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく措置を行うなど、老朽危険空家等対策を行います。 ②早急に対応しなければならない危険な空き家の対応等可能にする条例等制度を整えていきます。 ③空家の利活用を促進していきます。	指標：老朽危険空家等の危険部分の除却件数
	目標値：28件
	(令和5年度実績値：22件)
1-③住宅政策 ・真庭市住生活基本計画を策定し、若者の子育てや定住支援に重点をおいた住宅施策を、まちづくりと一体的に進めます。 ・市営立誠住宅（一戸）について、子育て世帯に対応した間取りにするなどの内部改修を実施します。	指標：計画策定数
	目標値：1
	新規 (令和5年度実績値：－)
1-④市営住宅の長寿命化改善事業の実施 ・真庭市営住宅整備計画（真庭市公営住宅等長寿命化計画）に基づいた市営住宅の長寿命化改善事業を実施し、住宅困窮者の住宅確保に配慮しつつ、市民の資産である市営住宅の有効活用とライフサイクルコストの縮減を図ります。なお、当該計画は令和3年度から令和12年度までの10箇年計画で、全50団地のうち17団地を長寿命化改善することとしています。 ・令和6年度は、市営中津井住宅改善事業及び国久住宅改善事業を実施します。	指標：ライフサイクルコストの縮減効果
	目標値：479千円
	(令和5年度実績値：272千円)

1-⑤市営住宅使用料の徴収 ・住宅使用料滞納者に対して、細やかな文書送付及び電話催告等に加え、弁護士と連携し即決和解等の法的措置を取り入れながら、徴収の成果を上げていきます。	指標:収納率
	目標値:98%
	96.6%
1-⑥第2次スクリーニング ・第1次スクリーニングで抽出された市内16箇所の大規模盛土について、第2次スクリーニング計画を策定しました。今年度は、1盛土について、第2次スクリーニングを実施していきます。	指標:調査盛土数
	目標値:1盛土
	(令和5年度実績値:8盛土)
1-⑦建築営繕業務の一元化を図る ・真庭市有施設の新築や大規模改修工事など建築営繕業務の一元化により、利便性及品質の向上と業務の効率化を図ります。また、木質化やユニバーサルデザインなどを取り入れた設計・営繕業務の推進を行います。	指標:建築工事の実施率
	目標値:100%
	(令和5年度実績値:100%)
1-⑧職員の能力開発を進める ・職員が講習会等に参加することにより、地域資源の木材を活用した木造(CLT)建築技術やCO2削減に向けた先進技術等について知識を深め、建築物の利便性の向上と省エネルギー化の推進を図ります。	指標:講習会等の参加
	目標値:課職員 2回/人
	(令和5年度実績値:課職員 2回/人)
2-①国土調査事業の計画的推進 ・国土調査中の5地区の早期完了を目指し、補助金を最大限活用して、目標面積1.48km ² を完全実施することにより進捗率の向上を図ります。 ・また、勝山・落合地区の市街地区域の調査を早期に終えるよう事業計画を検討していきます。 (全体計画面積756.34km ² に対して令和6年度末、完了予定面積731.99km ²)	指標:現地調査面積
	目標値:1.48km ² (全体進捗率96.78%)
	(令和5年度実績値:1.32km ² 、全体進捗率96.58%)
2-②国土調査事業の効率化 ・令和6年度も現地調査の外部委託を実施することで業務の効率化を図り、未実施地区についても外部委託の可能性を検討しつつ効率的に業務の推進を行います。	指標:延出役人員数
	目標値:108人 (前年度の95%)
	(令和5年度実績値:114人)

3-①道路環境整備事業の推進 ・地域や市民団体との協働による道路環境整備事業を推進することで、道路の安全と地域の美観を維持するとともに、市民の道路に対する愛着心を醸成し、地域の小さなしごとを創出する。 ・市民団体による市道の除草活動延長を指標とする。	指標:①除草活動延長 ②登録団体数 目標値:①400km ②220団体 (令和5年度実績値:①377km ②202団体)												
3-②GISを活用した道路等インフラ情報の一元管理 ・全庁での一元管理を関係課と協力して進め、来庁者へのサービス向上と業務の効率化を図ります。	指標:GISを活用したインフラ情報の一元化 目標値:1式 (令和5年度実績値:建設部のインフラ施設と農林道がGIS上でシステムの統合ができた)												
3-③中国横断自動車道岡山米子線の全線4車線化と利用推進 ・市民が安全かつ短時間で広域的に移動でき、地域経済を支える人と物の流れを促進するために、中国横断自動車道岡山米子線全線の4車線化の早期完成を推進します。 ・県や沿線市町と連携し、路線やインターチェンジの利用促進に取り組むとともに、引き続きNEXCO西日本等に事業の早期完成を要請して行きます。 R5年度交通量(全区間)は3月分未確定のため、推定値 <table><tr><th>年度</th><th>①一部区間 (4月～8月)</th><th>②全区間 (4月～翌年3月)</th><th>備考</th></tr><tr><td>R4</td><td>6,562</td><td>8,052 (実績値)</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>6,705</td><td>8,445 (推定値)</td><td>R4→R5:①1.05増</td></tr></table> ※一部区間:北房JCT～岡山総社IC間	年度	①一部区間 (4月～8月)	②全区間 (4月～翌年3月)	備考	R4	6,562	8,052 (実績値)		R5	6,705	8,445 (推定値)	R4→R5:①1.05増	指標:岡山路平均日交通量 目標値:平均 9,000台/日 (令和5年度実績値:8,445台/日) 有漢-北房 H30 9,117 R1 9,145 R2 7,286 R3 7,335 R4 8,052
年度	①一部区間 (4月～8月)	②全区間 (4月～翌年3月)	備考										
R4	6,562	8,052 (実績値)											
R5	6,705	8,445 (推定値)	R4→R5:①1.05増										
3-④市道の舗装修繕 ・利用者が快適に安心して道路を利用するために、舗装長寿命化修繕計画に基づいて順次舗装修繕を実施します。 ・平成30年度に策定した舗装長寿命化計画(R1～R3)は完了したが、必要な舗装修繕を継続して実施するために計画期間を延長して老朽化が進んだ路線や地元からの修繕要望に対応する。 計画路線 ・R1_22路線:13.2km(実績_22路線: 7.2km) ・R2_21路線:12.2km(実績_21路線: 9.9km) ・R3_22路線: 6.7km(実績_22路線: 6.9km) ・R4_29路線: 6.2km(実績_29路線: 5.4km)※実績延長については一部概算値を含む ・R5_29路線 :4.3km(実績_29路線: 4.3km) ・R6_29路線: 4.1km ・R7_21路線: 5.8km ●計 173路線:52.5km (重複あり)	指標:路線数 目標値:29路線 (令和5年度実績値:29路線)												

3-⑤橋梁等の維持管理 ・交通の安全安心と橋梁等長寿命化のために、法定点検を実施し、将来にわたって修繕コストの縮減と予算の平準化を実現するために順次調査設計を行い計画的に修繕工事を施工します。						指標:修繕未着工率
【橋梁】						目標値:52%以下
	R2	R3	R4	R5	R6	
点検	210	218	206	211	207	
調査設計	22	20	20	2	5	
修繕着工橋梁	7	13	12	8	6	
修繕計画 N=87橋 (R5.1現在)						(令和5年度実績値 : 54%)
R2までの未修繕着工率 (76-7)／76=91%						
R3までの未修繕着工率 (76-(7+13))／76=74%						
R4までの未修繕着工率 (82-(7+13+12))／82=61%						
R5までの見修繕着工率 (89-(7+13+12+9))／89=54%						
R6目標値(89-(7+13+12+6))/89=48%以下						
4-①水道の漏水対策の強化 予防保全の観点から漏水・断水などの水道事故や費用の発生リスクを低減し、浄・配水コストの縮減と投資の平準化を図るため、老朽管の基幹改良を計画的かつ効率的に行い、水道水の安定的な供給と経営指標となる有収率の向上を目指します。						指標:有収率 (勝山簡水月田地区)
・勝山簡水月田地区 82.9% (令和4年度88.3%、令和3年度84.2%) 勝山簡水月田地区の老朽管改良工事 (H28～R12)						目標値:88.5%
						(令和5年度実績値 : 82.9%)
4-②水道の開栓・休止手続きの電子申請化 ・水道の開始・休止手続きについて、来庁することなく、24時間いつでも申請可能な電子申請を、MIT、広報紙、市ホームページのPR等により普及させ、働き盛り世代や市外在住者など、来庁しての手続きが困難な方の利便性を高めます。また、こまめな開始・休止を行いやすくすることで、長期不在時の予期しない漏水等のトラブル防止を図ります。 ※令和4年度 平均9件／月 令和3年度 平均7件／月 令和2年度 平均2件／月						指標:開栓・休止の電子申請数
						目標値:10件/月
						(令和5年度実績値 : 平均10件／月)

4-③上下水道料金の口座振替の推進 ・上下水道料金の収納について、口座振替への移行を推進し、水道利用者の料金納付の手間や納め忘れによる未納を減らすと共に、収納事務や収納コストの削減を目指します。 令和5年度：口座振替利用率80.8% (全使用者：23,919人うち口座振替利用者19,319人) 令和4年度：口座振替利用率 83.6% 令和3年度：口座振替利用率 83.8%	指標:口座振替利用率
	目標値:84.0%
	(令和5年度実績値：80.8%)
4-④下水道による水質保全 ・旭川の源流域にある真庭市は、下流域にきれいな水を供給する必要があります。下水道による生活排水の浄化により、河川環境の水質保全に努めます。 ・接続推進 ・下水道普及のPR(広報、浄化センター見学会など) ※水洗化率…下水道の整備区域内の人口のうち、下水道を使用している人口の割合 【令和5年度末】 ・水洗化率：67.9%（令和4年度末66.0%、令和3年度末：65.0%） ・整備区域内人口：23,311人 ・下水道接続人口：15,822人	指標:水洗化率
	目標値:69.0%
	(令和5年度実績値：67.9%)
4-⑤下水道事業のコスト削減 ・一般会計から下水道事業会計への基準外繰入金削減のため、コスト削減に取り組みます。 【不明水の削減】 雨水等の不明水が流入することで、必要以上に処理費用が発生しています。雨水流入箇所の調査・修繕により不明水を抑制し、処理費用を削減します。 ※有収率…浄化センターで処理した水量のうち、収入の対象となる水量の割合 令和5年度89.1%(令和4年度91.5%、令和3年度88.5%)	指標:有収率
	目標値:92.0%
	(令和5年度実績値：89.1%)
4-⑥下水道施設の効率化 ・農業集落排水施設の統合を進める。宮地地区処理区と鹿田・美川地区処理区を令和9年度を目途に事業統合を行う。 令和6年度…詳細設計、電気設備工事 令和7年度…宮地処理区管路新設工事、機械設備工事 令和8年度…宮地中継ポンプ工事、宮地機械設備改修工事、電気設備工事 令和9年度…監視装置改修工事、太陽光発電工事	指標:設計及び工事
	目標値:年度事業の年度内完了
	【指標変更】 変更前：維持管理適正化計画策定 (令和5年度実績値：年度内完了)

4-⑦市設置浄化槽の使用者への譲渡 ・一般会計からの繰入金の抑制を図るため、市設置型浄化槽から個人への譲渡契約を進め、令和6年度に市町村設置浄化槽の譲渡完了を目指します。 ・市町村設置浄化槽：893基（ほか浄化槽の廃止等8基） ・令和5年度末、譲渡契約基数：887基（契約率99.3%） ・譲渡契約未契約：6基（R6譲渡 3基 R4以前 3基） 【浄化槽事業一般会計繰入金】 ・令和6年度39,192千円(当初予算見込) ・令和5年度42,134千円(決算見込) ・令和4年度47,416千円(決算) ・令和3年度53,600千円(決算)	指標:①譲渡契約率 ②一般会計繰入金額 目標値:①100.0% ②対前年▲5,577千円 （令和5年度実績値： ①99.3% ②対前年▲5,282千円）
5-①省エネルギー設備等の導入促進によるゼロカーボン化の推進を検討する ・施設の新設・改修時や老朽化した設備・機器等を更新する際には、LED照明や高効率エアコンなど省エネ機器の導入を積極的に検討し、順次更新を進めていくことで、省エネルギー化及び温室効果ガス排出量の削減を検討します。	指標:可能性の検討 目標値:100% （令和5年度実績値： 100%）
6-① ため池の適正な管理の推進 ・市内には多数のため池が点在し、その多くは戦前に築造されたため老朽化が進んでいます。「今後のため池の防災・減災事業の取り組み」により計画的に修繕工事を実施します。 ・他方で近年利用されていないため池も市内に確認されており、適切な管理がされていないため池はひとたび災害が発生すると堤が決壊し、下流域の住民を巻き込んで大惨事を起こす可能性があります。そのため、農耕用に利用されていないため池を廃止して周辺整備をすることで、将来にわたって安心して住み続けることのできる地域づくりに取り組みます。 （参考） 令和6年度は、ため池改修事業（県営事業 宮地地内江木池）詳細設計	指標:ため池廃止・修繕 目標値: 廃止 0 全堤改修設計 1 （令和5年度実績値： 廃止 1） （赤野地内八幡池）
6-② 林道の安全な通行の確保 ・林業振興促進のため、林道の危険箇所の修繕工事を実施し、通行の安全を確保することにより、原木搬出量の増量を図ります。 ・基幹林道（川上1号線）の未舗装区間7,178mについては、R4年度～R9年度で全線舗装施工を目指します。 ・林業振興のため、林道の開設に向け調査・検討を行います。 （参考） R5年度舗装新設実績 L = 1,635m R6年度舗装新設目標 L = 1,300m	指標:市内の原木流通量 目標値: 130,000m³ （令和5年度実績値： 142,000m³）